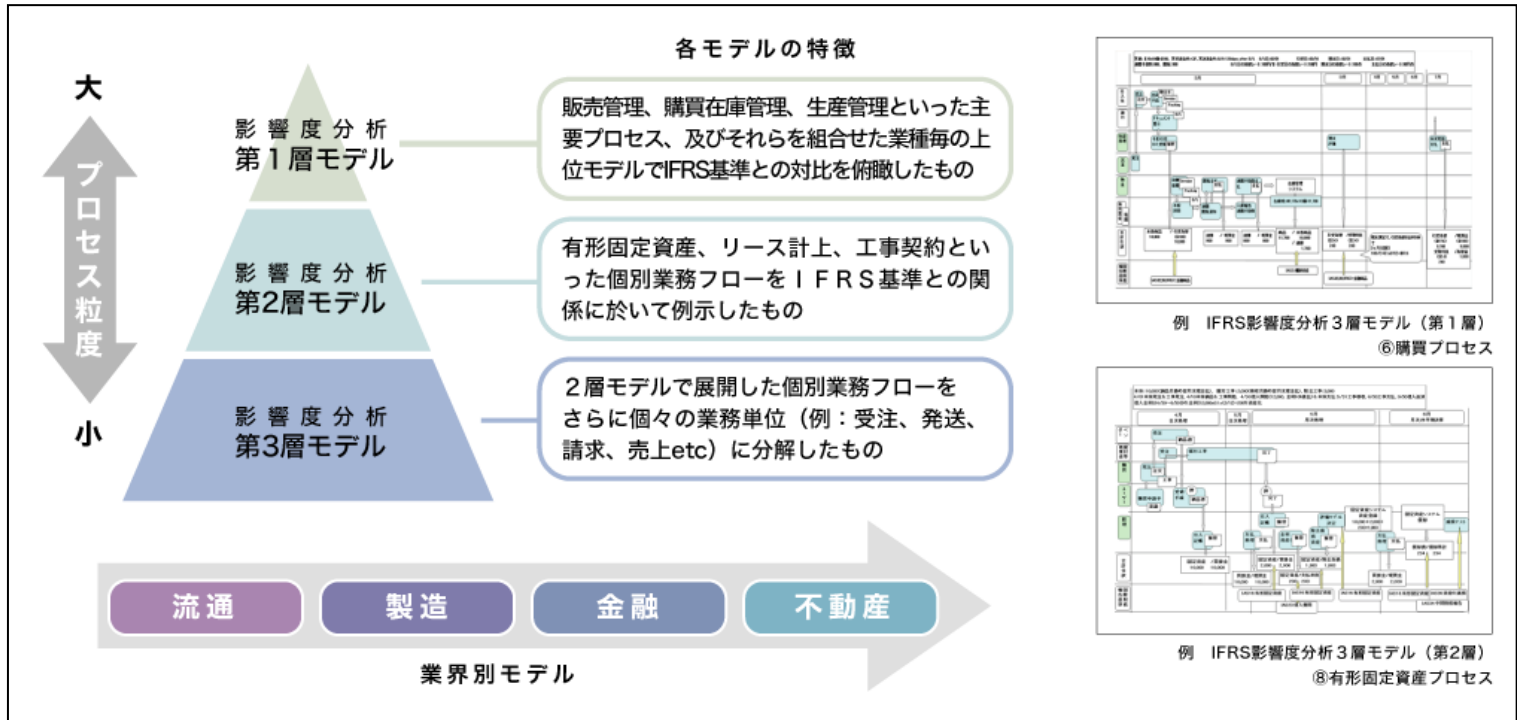


IFRS 影響度分析 3 層モデルについて

「IFRS 影響度分析 3 層モデル」は、IFRS が標準的な業務プロセスのどこに影響を与えるかを表示する、MKI 総合研究所が独自開発した分析モデルです。日本基準と IFRS の会計差異と会計仕訳がプロセス図の中に織り込まれており、会計、システム、内部統制の影響度分析に活用できます。



以上

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社(MKI)は、お客様のICT(Information and Communication Technology)基盤の構築・運用を通じて、お客様の情報コミュニケーションを支えてまいります。ICT インフラストラクチャからアプリケーションにわたり、コンサルティング、設計・構築、運用・保守サポート、データセンターを活用したサービス等をワンストップでご提供します。MKIは、お客様の経営戦略や業務基盤をICTで総合的に支える「ICTトータルマネジメントパートナー」として、お客様とともに持続的な成長を実現してまいります。

ホームページ：<http://www.mki.co.jp/>

【三井情報株式会社総合研究所について】

総合研究所は三井情報のコンサルティング部門で、現在 80 名のコンサルが活躍中。得意分野はITコンサルティング、内部統制、IT投資ポートフォリオ評価、IT資産分析及びバイオインフォマティクスです。三井情報は独自の会計パッケージや独自のERPを開発した経験者が多く、総合研究所には財務会計・管理会計の専門家を多く擁するほか、IFRS 専門チームには公認会計士資格者もいます。

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。